

平成29年度事業報告

平成29年度の活動・運営においては、法人会の基本的指針に則り、「税」に関する活動を中心に地域社会への貢献と地域企業の発展を目指し公益目的事業を充実させるとともに、公益法人としての適切な運営に努め、支部・青年部会・女性部会と連携強調して以下の事業に取り組みました。

1. 公益目的事業の積極的な開催

税知識の普及及び税に関する啓発活動は、次世代を担う若者を対象に、小学校・中学校・高校で開催した計4回の「租税教室」、小学校5～6年生が応募した「税に関する絵はがきコンクール」、北薩地区で開催されるイベントにおいて「税金クイズ」等を開催しました。

また、企業へ国税の電子申告（e-Tax）やダイレクト納付制度の利用推進、マイナンバー制度の周知活動に取り組み、税務行政の支援を行いました。

地域社会への貢献を目的とする事業は、北薩地区において地域の要請に応じた各種活動を実施しました。とくに、地元出水市出身の歴史作家桐野作人氏の「薩摩の維新三傑を語る」と題した講演会を約200名の参加者で開催することが出来ました。また、青年部会が中心となって行った「早春の出水を歩こう！出水麓武家屋敷ウォークラリー」は、鹿児島県内外より約130名の参加の下地域おこしに貢献し、各支部や部会が行う「講演会活動」「地域イベントの支援」「美化奉仕活動」「チャリティ募金活動」等は、今では地域に根ざした活動となっています。

地域企業の発展を目的とする事業は、税務・経営・実務・人材育成等に関する様々な研修会・セミナーを開催しました。また、各種情報の広報活動を行うとともに、企業の情報交換の機会を提供しました。

2. 組織運営と財政基盤の強化

財政基盤の強化のため、年会費の見直し・値上げを行いました。

また、ここ数年力を入れている会員増強ですが、平成29年度は、組織委員会を中心とした役員と支部、事務局が一体となり新規会員の加入勧奨を行いました。が、会費値上げの影響もあり、会員数減少となり、次年度以降の課題となりました。

その他、福利厚生制度の推進に当たっては、全法連が勧める「ふやそう2万社GOGOキャンペーン」達成のため、協力3社と連携し、紹介運動の展開を図りました。

以上のことから、法人会組織の強化と財政の基盤強化に繋がりました。

3. 公益法人制度が求める法人会運営・管理の強化

公益法人制度が求める理事会や総会の運営に努めるほか、定款・規程の見直しを行いガバナンスの確保に努めました。